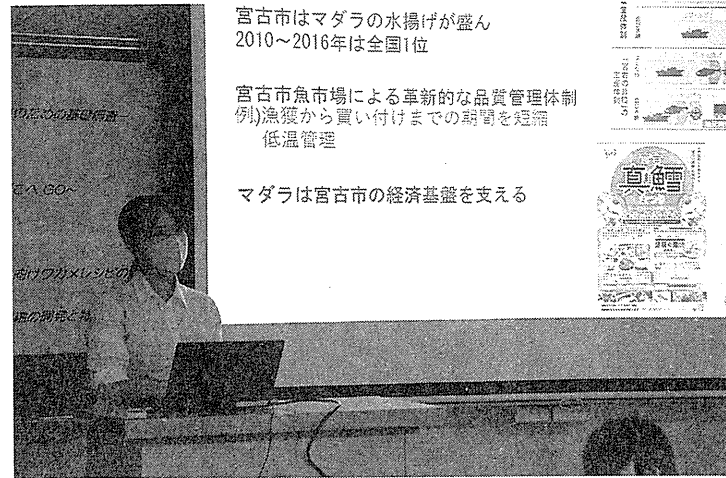


# 岩大生がアイデア発表

## 次世代アグリプロジェクト

岩手大・次世代アグリの23年度は、6件の信は、同大農学部のエクト。「食べる通信」リノベーション研究プロジェクトが採択さ2、3年生6人が取り(出版・雨風太陽)かC、下野裕之センター「岩大めえもの通をつなぐためのプロジ組んだ生産者と消費者ら着想を得て、「購入元商店や農家の計3者にインタビューした

岩手大・次世代アグリの23年度は、6件の信は、同大農学部のエクト。「食べる通信」リノベーション研究プロジェクトが採択さ2、3年生6人が取り(出版・雨風太陽)かC、下野裕之センター「岩大めえもの通をつなぐためのプロジ組んだ生産者と消費者ら着想を得て、「購入元商店や農家の計3者にインタビューした



1年間の取り組みの成果について発表する学生



岩手大で行われた「次世代アグリ学生プロジェクト成果報告会」

素を加えること「地り、実際に仕事を体験産地消の促進」「食品したりなど、学生たちロス削減」の三つを目的に、X(旧ツイッター)やインスタグラムなどSNSを利用できた。一方で、SNSの運用が難しく、なかなか生産者の思いを消費者へ発信する機会が少なかったなどの課題も残った。

メンバーの横山詩咲菜(しえな)さん(2年)は「SNSを通じて、多くの人に(生産者の)活動と内容を知ってもらいたい。それが大きな目標」と力を込めた。同プロジェクトは、今後もSNSで発信を続けるなど活動の継続を検討している。

ほかにも、タラ肝を使った新商品の開発や三陸産ワカメの販売促進に向けたレシピ開発など多彩な取り組みが報告された。

宮古市はマダラの水揚げが盛ん  
2010~2016年は全国1位

宮古市魚市場による革新的な品質管理体制  
(例)漁獲から買い付けまでの期間を短縮  
低温管理

マダラは宮古市の経済基盤を支える



※盛岡タイムス令和6年2月21日付/5面  
※この記事は盛岡タイムス社の許諾を得て掲載しています。